

つづき

	5年 以上	5年 未満	総数		5年 以上	5年 未満	総数
(ト) 喘鳴				(へ) 心内膜炎			
(チ) チアノーゼ				(ト) 肺炎	1	2	3
(リ) チアノーゼや呼吸困難の発 作				(チ) ペースメーカー植込み			
(ヌ) けいれん				(リ) その他	1	3	4
(ル) その他				Ⅶ. 女性の方の手術後の結婚と妊娠			
Ⅳ. 手術の効果 (イ) よくなった	9	10	19	結婚した	1		1
(ロ) 多少よくなった	2	1	3	していない		1	1
(ハ) 余りかわらない		1	1	手術前からしていた		1	1
(ニ) 悪くなった				手術後妊娠した	1	1	2
Ⅴ. 手術後の経過に変動のあった方				したことがない		1	1
1) 術後しばらくはよかったが後に悪く なった				(イ) 自然分娩	2	1	3
2) 術後しばらく具合が悪かったがよく なった	1	1	2	(ロ) 帝王切開			
Ⅵ. 退院後の大きな病気				(ハ) 自然流産			
(イ) 輸血後肝炎				(ニ) 人工流産	1		1
(ロ) リウマチ熱				(ホ) 死産			
(ハ) 脳栓塞 脳血栓	1		1	Ⅶ. 子供さんについて			
(ニ) 手足の栓塞				先天性心疾患があった			
(ホ) 脳膿瘍				なし			
				Ⅷ. 心臓病の薬 (イ) のんでいる	1		1
				(ロ) のんでいない	10	11	21
				Ⅸ. 死亡		1	1

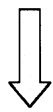
れた。この例は、術後3年目に作業中突然死している。

大動脈縮窄症手術症例の長期予後

天理よろづ相談所病院 小児循環器科 田村時緒

昭和51年未までに本症の8例が手術を受け、術後の収縮期圧較差15 mmHg以下の改善を得て退院している。合併心血管異常はPDAを伴うTurner症候群1例、長い管状縮窄で腹部に及ぶ人工血管で修復したもの1例である。術前の収縮期圧較差は17 mmHg～86 mmHg、平均51 mmHgで、手術時年齢は3才2月～12才11月、平均年齢8才4月である。8例中1例は術後5年を経てリンパ性白血病に罹り20才11月(術後8年3月)で死亡したが、他の7例は再縮窄も認めず現在健康に支障を認めていない。現在の年齢は5才1月～20才1月平均年齢は12才9月、術後の経過手数は2年4ヵ月～7年9ヵ月、

平均4年8ヵ月である。20才の1例のみ自動車整備工として普通に働いている。他の6例中5例は学童、1例は幼稚園児で皆元気に過し、術前よりよくなったことを認めている。現在の血圧測定で最高血圧が150～160 mmHg 2例、140～130 mmHg 2例で、術後も長期にわたり高血圧症が存続する症例を認めた。健康管理では血圧150 mmHg以上の2例には積極的な運動を禁止し、130 mmHg 台の2例には持続的な激しい運動のみ禁止している。なおこれらの高血圧症例についてはひきつづき年1回の定期診察を受けるよう指導している。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



昭和 51 年未までに本症の 8 例が手術を受け、術後の収縮期圧較差 15mmHg 以下の改善を得て退院している。合併心血管異常は PDA を伴う Turner 症候群 1 例、長い管状縮窄で腹部に及ぶ人工血管で修復したもの 1 例である。術前の収縮期圧較差は 17mmHg ~ 86mmHg, 平均 51mmHg で、手術時年齢は 3 才 2 月 ~ 12 才 11 月、平均年齢 8 才 4 月である。8 例中 1 例は術後 5 年を経てリンパ性白血病に罹り 20 才 11 月(術後 8 年 3 月)で死亡したが、他の 7 例は再縮窄も認めず現在健康に支障を認めていない。